

記者発表資料－3

市内電車環状線化に伴う富山城跡の調査成果について

1 調査遺跡 富山城跡（三ノ丸）

2 調査期間 平成20年5月1日～平成21年9月末終了予定

3 工事内容 市内電車環状線化（丸の内～西町区間、延長約940m）に伴う軌道本線敷設工事・付帯工事

4 調査の概要

- ・ 大手モールの地表下約90cmに、江戸時代の富山城正門である「大手門」の石垣の一部を確認しました。場所は総曲輪通りとの交差点の北、約10mです。
- ・ 調査では、東西約3.2m、高さ約2mに4段分の石垣を検出しました（写真①）。石は水平に揃える「布積み」という積み方で、富山藩初期（西暦1660年頃）のものと考えられます。石垣を復元すると図①となります。
- ・ 大手門石垣は、富山藩初期の城下町絵図に白く囲んで表現されています（写真②）。
- ・ これまで、この大手門石垣の存在は絵図で知られるだけでしたが、遺構として確認されたのは今回が初めてです。
- ・ この発見により、大手門の正確な位置や規模が明らかになったことは、極めて貴重な成果です。

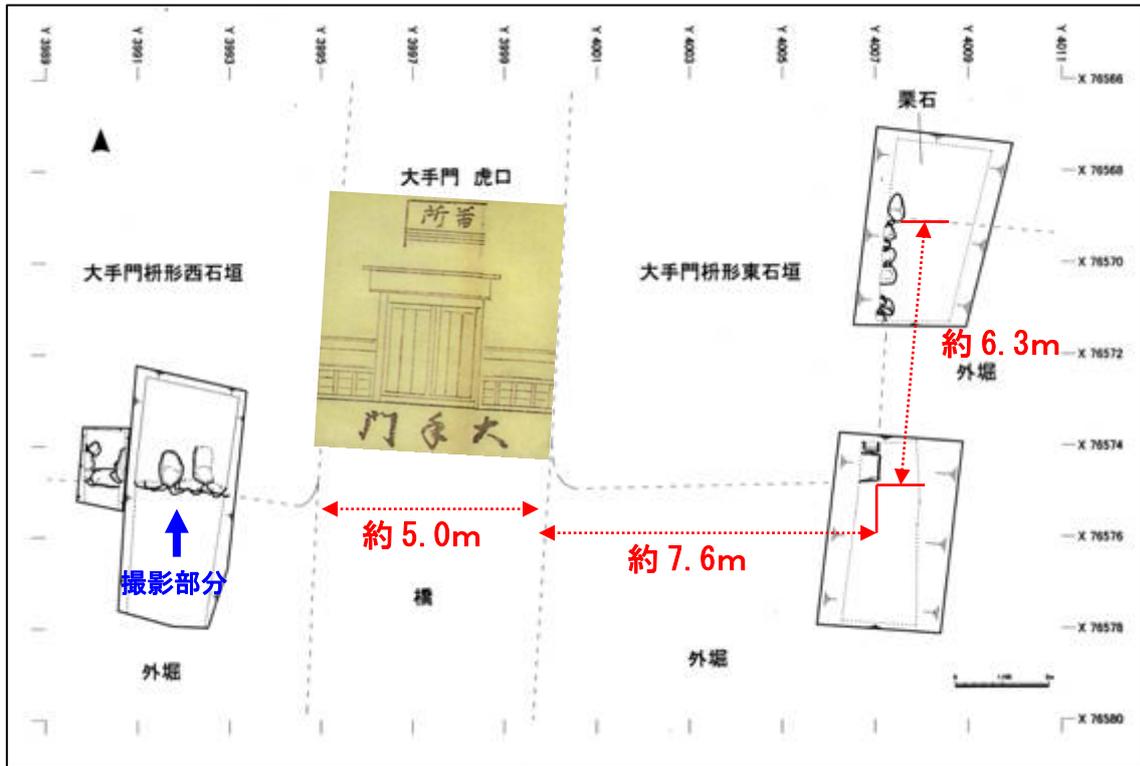
5 その他

（1）出土品について

- ①日 程 平成21年10月10日（土）から11月8日（日）まで
- ②会 場 郷土博物館2Fロビー
- ③展示名 『発掘速報展2009 Part1 “まちなか”地下1mの富山城・城下町』
- ④内 容 代表的な陶磁器や石垣の石材、調査写真約50点を展示します。

（2）大手モールにおける「大手門跡」の表示について

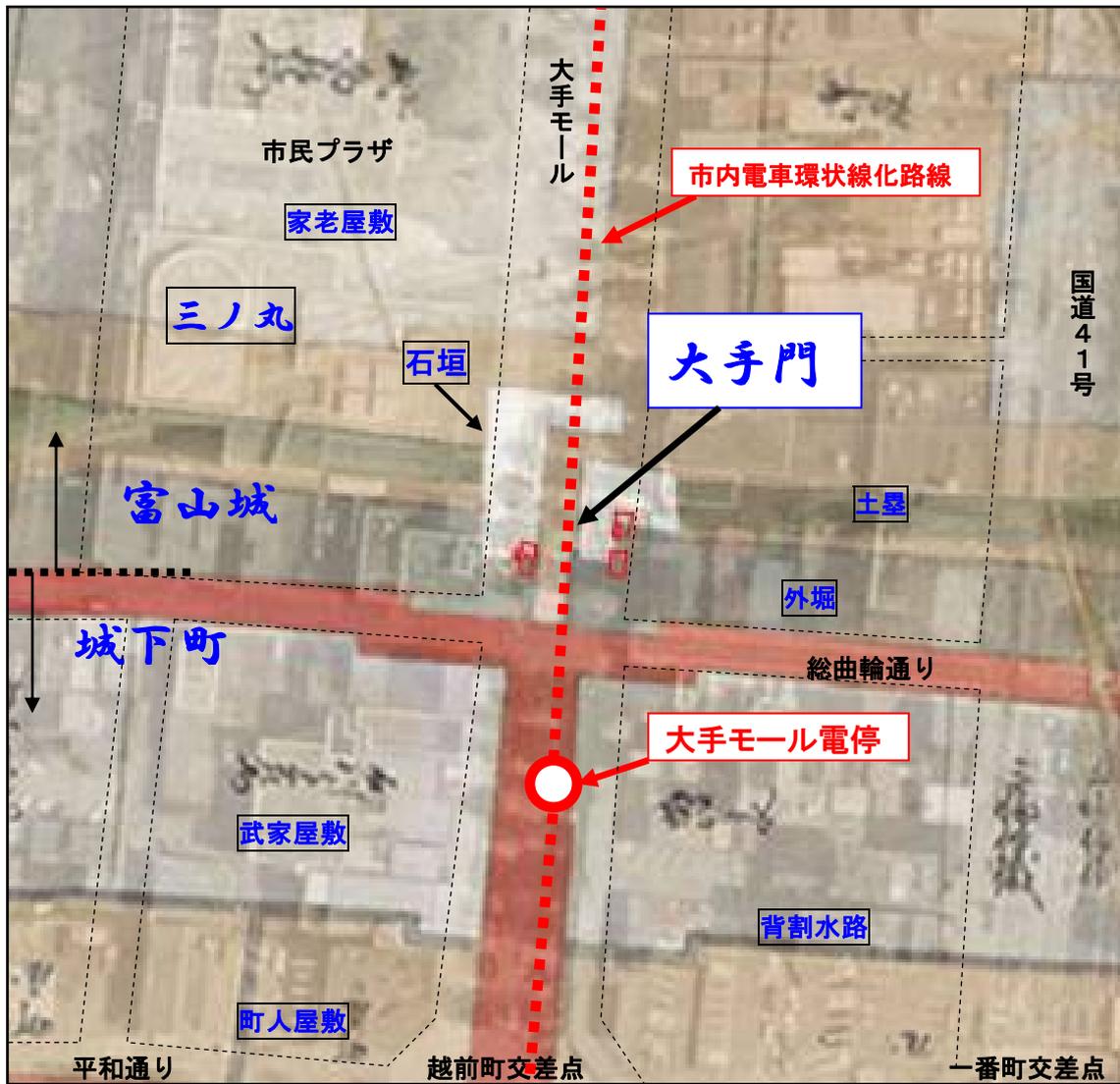
今回見つけた大手門石垣の南西隅にあたる歩道内に、「大手門跡」の説明プレート（40cm四方）を埋め込み、大手門の位置とその概要が分かるようにします。（*プレートは路面電車推進室が設置します。）



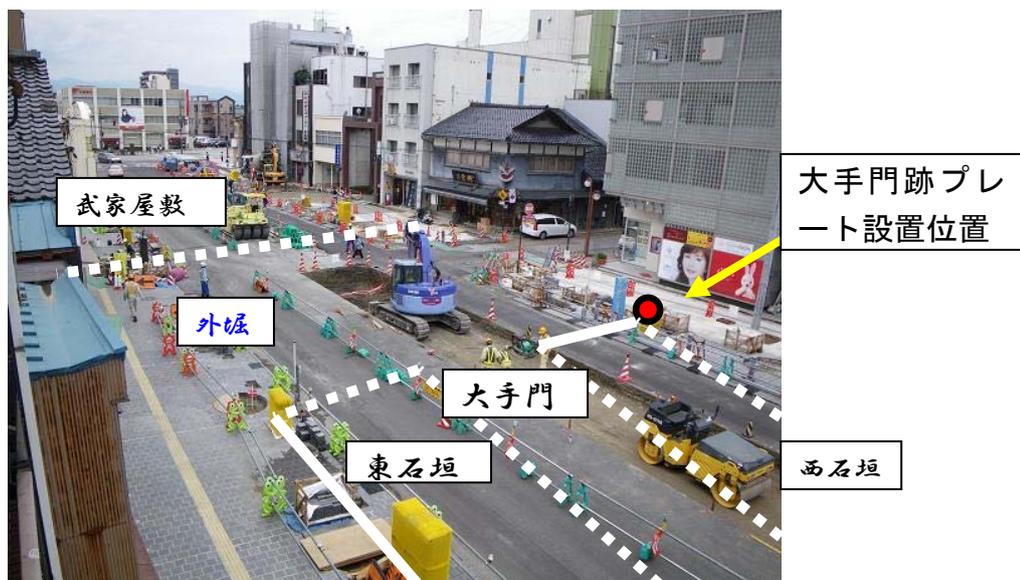
図① 復元された大手門石垣の規模



写真① 大手門西石垣の出土状況（近景）



写真② 「万治年間富山旧市街図」と航空写真の合成図



富山城大手門跡を北東方向からみる